

第4期国土交通省技術基本計画(H29-H33) フォローアップ方法の見直しについて

国土交通省

平成30年4月12日

1. フォローアップの目的・実施方針について
2. 技術研究開発課題のフォローアップの進め方の見直しについて
3. 技術政策（環境整備、国際展開、人材育成、信頼性の確保）のフォローアップの進め方の見直しについて
4. フォローアップの体制・スケジュールの見直しについて

1. フォローアップの目的・実施方針について
2. 技術研究開発課題のフォローアップの進め方の見直しについて
3. 技術政策（環境整備、国際展開、人材育成、信頼性の確保）のフォローアップの進め方の見直しについて
4. フォローアップの体制・スケジュールの見直しについて

フォローアップの目的、実施方針について

フォローアップの目的

- 国土交通行政における事業・施策の一層の効果・効率の向上を実現し、国土交通技術が国内外において広く社会に貢献するとの本計画の本来の目的を踏まえ、実施状況として把握すべき事項を整理し、適切な評価を経て、必要な改善を図る。
- 社会情勢や技術動向に基づく技術政策ニーズを適宜把握し、その変化に柔軟に対応するとともに、取り組むべき課題等について見直し等の必要性を検討する。

フォローアップの実施方針

- フォローアップ対象の設定
 - ・ 効果的・効率的にフォローアップを実施できるよう、フォローアップを実施する対象を設定。
- フォローアップの実施
 - ・ 進捗状況の把握等を行い、目標を達成するために必要な取組を着実に推進する上でボトルネックとなる課題を明らかにするとともに、外部環境の変化を分析して、計画の見直し等の必要性について検討する。
 - ・ 検討の結果、改善が必要と判断される場合には、改善方策を検討。

1. フォローアップの目的・実施方針について
- 2. 技術研究開発課題のフォローアップの進め方の見直しについて**
3. 技術政策（環境整備、国際展開、人材育成、信頼性の確保）のフォローアップの進め方の見直しについて
4. フォローアップの体制・スケジュールの見直しについて

技術基本計画における整理

- 技術研究開発課題について、以下の4つの柱で、今後、主体的に行っていくこととする技術研究開発課題176件(再掲重複あり)(全151件)を整理。
 1. 安全・安心の確保
 2. 持続可能な成長と地域の自律的な発展
 3. 技術基盤情報の整備
 4. 生産性革命の推進

フォローアップの進め方について

- フォローアップ対象の設定
 - ・ 技術研究開発課題176件(再掲重複あり)(全151件)のうち、フォローアップ対象として、毎年10件程度を選定。
 - ▷ 年に2回技術部会を開催し、毎回5件の技術研究開発課題の選定を想定。
- フォローアップの実施
 - ・ 選定された技術開発課題について、進捗状況の把握等を行う。

- ・ 年に2回、各技術研究開発における進捗状況等に対して、技術部会にて御議論頂く。

前回会合における委員コメント(要旨)

■ 個別課題のフォローアップ方法について

- 各課題について、「遅れている」、「堅調」、「終了」など、全体の進捗を把握した上で、いくつかの課題について詳細のフォローアップを行ってはどうか。
- 課題の選定にあたっては、変化が激しいもの、技術開発を進めるともっと大きい成果が上がるもの等、不確実性の高いものを選んではどうか。
- 共通課題を括りカテゴリー分けするなど、俯瞰的なフォローアップを行った上で、いくつかの課題について詳細のフォローアップを行ってはどうか。

■ 技術革新の速い技術(情報技術等)や新しいニーズへの対応

- 技術革新の速い技術(情報技術等)が関わる課題については、提案のあったフォローアップ方法では技術革新のスピードに追従できないのではないか。
- 情報技術に関わる人材の質的变化も考慮が必要。
- 新しく出てきたニーズを吸い上げ、必要なテーマの漏れ落ちがないか、モニタリングの意味でのフォローアップも必要。

■ その他

- 課題の進捗状況把握とモニタリングによる計画の見直しの内容が混在しており、整理が必要。

技術基本計画における整理

- 技術研究開発課題について、以下の4つの柱で、今後、主体的に行っていくこととする技術研究開発課題176件(再掲重複あり)(全151件)を整理。
 1. 安全・安心の確保
 2. 持続可能な成長と地域の自律的な発展
 3. 技術基盤情報の整備
 4. 生産性革命の推進

フォローアップの進め方について

- フォローアップ対象の設定
 - ・ 技術研究開発課題176件(再掲重複あり)(全151件)の**全ての課題**をフォローアップ対象に設定。
- フォローアップの実施
 - ・ **毎年全ての技術開発課題**について、進捗状況の把握等を行う。
 - ▷ 自己点検結果等を活用し、課題毎に進捗状況をモニタリング。
A: 予定を超えた進捗・目標達成、B: 予定された進捗・目標達成、C: 予定された進捗・目標未達、
-: 特性上、把握不能
 - ・ 達成状況の良い課題については、好事例として、技術部会にて成果を報告。
 - ・ 計画期間の3年目(1、2年目内容対象)及び5年目(3、4年目内容対象)には、過年度のモニタリング結果を踏まえ、技術基本計画の柱毎に俯瞰的な評価を実施。
 - ・ 技術革新の速い技術や新しいニーズを議論する場として、「国土交通技術行政の基本政策懇談会(仮称)」を設置。

- 年に**1回**、各技術研究開発における進捗状況等に対して、技術部会にて御議論頂く。
- 計画期間の3年目(1、2年目内容対象)及び5年目(3、4年目内容対象)には、技術基本計画の柱毎の俯瞰的な評価について、技術部会にて御議論頂く。
- 基本政策懇談会における議論の結果について、技術部会にて御議論頂く。

個別課題のフォローアップ方法について

前回会合での委員コメント(要旨)

- フォローアップ対象課題の選定基準として、変化が激しいもの、技術開発を進めるともっと大きい成果が上がるもの等、不確実性の高いものを選んではどうか。
- 各課題について、「遅れている」、「堅調」、「終了」など、全体の進捗を把握した上で、いくつかの課題について詳細のフォローアップを行ってはどうか。
- 共通課題を括りカテゴリー分けするなど、俯瞰的なフォローアップを行った上で、いくつかの課題について詳細のフォローアップを行ってはどうか。

フォローアップの進め方の見直し(案)

- 毎年全ての課題について、自己点検結果等を活用し、課題毎に進捗状況をモニタリング。
- 進捗状況の良い課題については、好事例として、技術部会にて成果を報告。
- 計画期間の3年目(1、2年目内容対象)及び5年目(3、4年目内容対象)には、過年度のモニタリング結果を踏まえ、技術基本計画の柱毎に俯瞰的な評価を実施。

技術革新の速い技術(情報技術等)や新しいニーズへの対応

前回会合での委員コメント(要旨)

- 技術革新の速い技術(情報技術等)が関わる課題については、提案のあったフォローアップ方法では技術革新のスピードに追従できないのではないか。
- 情報技術に関わる人材の質的变化も考慮が必要。
- 新出のニーズを吸い上げ、必要なテーマの漏れ落ちがないか、モニタリングの意味でのフォローアップも必要。

フォローアップの進め方の見直し(案)

- 技術革新の速い技術(情報技術等)や新しいニーズについて議論する場として、「国土交通技術行政の基本政策懇談会(仮称)」を設置。

その他

前回会合での委員コメント(要旨)

- 課題の進捗状況把握と社会変化への対応による計画の見直しの内容が混在しており、整理が必要。

フォローアップの進め方の見直し(案)

- モニタリングによる各課題の進捗状況把握と「国土交通技術行政の基本政策懇談会(仮称)」の設置による社会変化への対応を整理。

1. フォローアップの目的・実施方針について
2. 技術研究開発課題のフォローアップの進め方の見直しについて
- 3. 技術政策（環境整備、国際展開、人材育成、信頼性の確保）のフォローアップの進め方の見直しについて**
4. フォローアップの体制・スケジュールの見直しについて

技術基本計画における整理

- 技術研究開発以外の技術政策として、以下の4つを柱として整理がされており、各政策について、基本的な考え方、方策・方針について記述がされている。
 1. 好循環を実現する環境の整備
 2. 我が国の技術の強みを活かした国際展開
 3. 技術政策を支える人材育成
 4. 技術に対する社会の信頼の確保

フォローアップの進め方について

- フォローアップの実施
 - ・ 各政策について、進捗状況の把握等を行う。
 - ・ 社会情勢の変化等を踏まえ、各政策の基本的な考え方、方策・方針について、変更の必要性の有無につき検討を行う。

- ・ 年に1回、各政策の進捗状況等に対して、技術部会にて御議論頂く。
- ・ 各政策の基本的な考え方、方策・方針について、変更の必要性が生じる場合には、変更点について、技術部会にて御議論頂く。

前回会合における委員コメント(要旨)

フォローアップ頻度について

- 技術革新のスピードの速いものについて、ガイドラインや法整備など、年1回のフォローアップで十分か。

技術基本計画における整理

- 技術研究開発以外の技術政策として、以下の4つを柱として整理がされており、各政策について、基本的な考え方、方策・方針について記述がされている。
 1. 好循環を実現する環境の整備
 2. 我が国の技術の強みを活かした国際展開
 3. 技術政策を支える人材育成
 4. 技術に対する社会の信頼の確保

フォローアップの進め方について

- フォローアップの実施
 - ・ 各政策について、進捗状況の把握等を行う。
 - ・ 社会情勢の変化等を踏まえ、各政策の基本的な考え方、方策・方針について、変更の必要性の有無につき検討を行う。

- ・ **毎回**、各政策の進捗状況等に対して、技術部会にて御議論頂く。
- ・ 各政策の基本的な考え方、方策・方針について、変更の必要性が生じる場合には、変更点について、技術部会にて御議論頂く。

(参考)委員コメントとフォローアップ方法の見直し(案)の対応関係

前回会合での委員コメント(要旨)

- 技術革新のスピードの速いものについて、ガイドラインや法整備など、年1回のフォローアップで十分か。



フォローアップの進め方の見直し(案)

- 毎回フォローアップを実施。

1. フォローアップの目的・実施方針について
2. 技術研究開発課題のフォローアップの進め方の見直しについて
3. 技術政策（環境整備、国際展開、人材育成、信頼性の確保）のフォローアップの進め方の見直しについて
4. フォローアップの体制・スケジュールの見直しについて

フォローアップの体制等

- 基本的に、年1回以上、技術基本計画のフォローアップを技術部会に報告し、御議論頂くこととする。
- フォローアップに際しては、関係業界、有識者等に対し、ヒアリングを実施する。

フォローアップのスケジュール

- フォローアップの今後のスケジュール(案)は以下のとおり。

H29.9 第21回技術部会

- ・フォローアップ方針(案)

H30.2 第22回技術部会

- ・フォローアップ技術開発課題(①)決定(5課題程度)
- ・ヒアリングの実施報告
- ・技術政策のフォローアップ結果報告

H30.9 第23回技術部会

- ・技術開発課題①のフォローアップ結果報告、講評
- ・次回フォローアップ技術開発課題(②)決定(5課題程度)
- ・ヒアリングの実施報告

H31.2 第24回技術部会

- ・技術開発課題(①)講評後の方針報告等(適宜)
- ・技術開発課題(②)のフォローアップ結果報告、講評
- ・次回フォローアップ技術開発課題(③)決定(5課題程度)
- ・ヒアリングの実施報告
- ・技術政策のフォローアップ結果報告

以降、平成33年度まで継続

フォローアップの体制等

- 基本的に、年1回以上、技術基本計画のフォローアップを技術部会に報告し、御議論頂くこととする。
- フォローアップに際しては、関係業界、有識者等に対し、ヒアリングを実施する。

フォローアップのスケジュール

- フォローアップの今後のスケジュール(案)は以下のとおり。

H29.9 第21回技術部会

- ・フォローアップ方針(案)

H30.4 第22回技術部会

- ・フォローアップ方針の決定
- ・ヒアリングの実施報告

H30.9 第23回技術部会

- ・技術開発課題のH29のフォローアップ結果報告、講評
- ・技術政策のフォローアップ結果報告
- ・国土交通技術行政の基本政策懇談会(仮称)の結果報告

H31.2 第24回技術部会

- ・ヒアリングの実施報告
- ・技術政策のフォローアップ結果報告
- ・国土交通技術行政の基本政策懇談会(仮称)の結果報告

以降、平成33年度まで継続

※H31、H33では、技術基本計画の柱毎の俯瞰的な評価結果について報告。